

1. 略歴

- 1989年3月 大阪大学文学部哲学科インド哲学専攻卒業
1991年3月 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士前期課程修了
1996年3月 大阪大学大学院文学研究科哲学哲学史専攻博士後期課程単位取得退学
1996年9月 米国ハーヴァード大学大学院サンスクリット・インド学科留学
2002年6月 博士 (Ph.D.) 学位取得 (ハーヴァード大学)
2009年10月 京都大学人文科学研究所助教
2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

ヴェーダ学、インド学

b 研究課題

古代インドの家庭儀礼と社会文化史

c 概要と自己評価

専門としている「ヴェーダ宗教儀礼からみる古代インドの文化史」というテーマについて、三つの方向から研究を進めた。第一に、ヴェーダの宗教伝統における学習入門の儀礼と、非ブラフマニズム宗教である初期仏教における入門の儀礼を比較し、後者が前者の発展の文脈上にあることを解明した。第二に、紀元前後から頻繁に現れる「贈与の際に手に水を灌ぐ」という表現について、ヴェーダ文献および仏教文献から用例を収集し、その発展史をあとづけた。第三に、2009年からフィールドワークを続けている南インド・ケーララ州のヴェーダ伝承について、どのような形で古代宗教が現代社会に生きているか、学習儀礼を中心に検証する作業を継続した。これらの主題はいずれも数年にわたり研究してきたが、前二者についてはこの二年で論文としてまとめ公刊するに至った。

d 主要業績

(1) 論文

梶原三恵子、「ウパニシャッドと初期仏典の一接点 — 入門・受戒の儀礼とブラフマチャリヤ —」、『人文学報』109、33-102頁、2016年

Kajihara, Mieko. "The Upanayana and the 'Repeated Upanayana(s)'" In: *Vedic Investigations* (ed. Asko Parpola and Petteri Koskikallio): 271-296. Motilal Banarsidass, Delhi. 2016年

梶原三恵子、「古代インドにおける授与の諸儀礼と水」、『印度学仏教学研究』、65(1)、283-290頁、2016年

梶原三恵子、「家庭儀礼一覧「十六行事」からみるナンブーディリ社会の現在」、『南アジア研究』28、232-234頁、2016年

Kajihara, Mieko. "Giving the Bride to the Bridegroom with Water at the Ancient Indian Marriage Ritual." *Studies in Indian Philosophy and Buddhism* 25 : 1-30. 2017年

梶原三恵子、「インドにおけるヴェーダの伝承について」、『国際哲学研究』7、51-55頁、2018年

(2) その他

梶原三恵子、「月に守られた者」、『世界の名前』(編：岩波書店辞典編集部)、岩波新書：1-3頁、2016年

(3) 学会発表

国際、Kajihara, Mieko. The sodasa-kriyas and today's Namputiri society. *The Brahmanism and Hinduism: Prolegomena* (International Symposium). Institute for Research in Humanities, Kyoto University, 2016.3.11

国内、梶原三恵子、「グリヒヤストラにおける手と水の儀礼」、日本印度学仏教学会第67回学術大会、東京大学本郷キャンパス、2016.9.4

国内、梶原三恵子、「聖典学習者と禁欲 — brahmacarin 再考」、共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム」第2回シンポジウム「古代インドにおけるアセティシズムの諸相 — 禁欲・出家・苦行 —」、京都大学人文科学研究所、2017.3.25

国内、梶原三恵子、「インドにおけるヴェーダの伝承について」、東洋大学国際哲学研究センターシンポジウム「聖典はどのように伝えられたのか—宗教の言葉と思想を考える」、東洋大学、2017.10.21

国内、梶原三恵子、「入門儀礼と学習儀礼における衣について」、共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム」第4回シンポジウム「古代・中世インドの儀礼、制度、社会」、東京大学、2018.3.24

(4) 会議主催（チェア他）

国内、日本印度学仏教学会第67回学術大会、実行委員、東京大学、2016.9.3～2016.9.4

国内、共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム」第3回シンポジウム、共催、京都大学人文科学研究所、2017.10.7

国内、共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム」第4回シンポジウム、共催、東京大学、2018.3.24～2018.3.25

(5) 共同研究（産学連携除く）

国内、京都大学人文科学研究所共同研究「ブラフマニズムとヒンドゥイズム：南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性」共同研究員、2016～

国内、南アジア地域研究推進事業「南アジア地域研究」東京大学拠点（TINDAS）拠点構成員、2017～

(6) 研究テーマ

梶原三恵子、文部科学省科学研究費補助金基盤B・研究代表者、「ヴェーダからポスト・ヴェーダの宗教・文化の共通基盤と重層性の研究」、2017～

梶原三恵子、文部科学省科学研究費補助金基盤B・研究分担者、「南インド希少ヴェーダ学派の文献集成と翻訳研究」（研究代表者：藤井正人）、2013～2017

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、インド思想史学会、理事、2016.4～

国内、日本印度学仏教学会、理事、2017.9～

国内、日本南アジア学会、会員

国内、東方学会、会員

国際、American Oriental Society, Member

(2) 行政

日本学術会議 連携会員、2017.10～